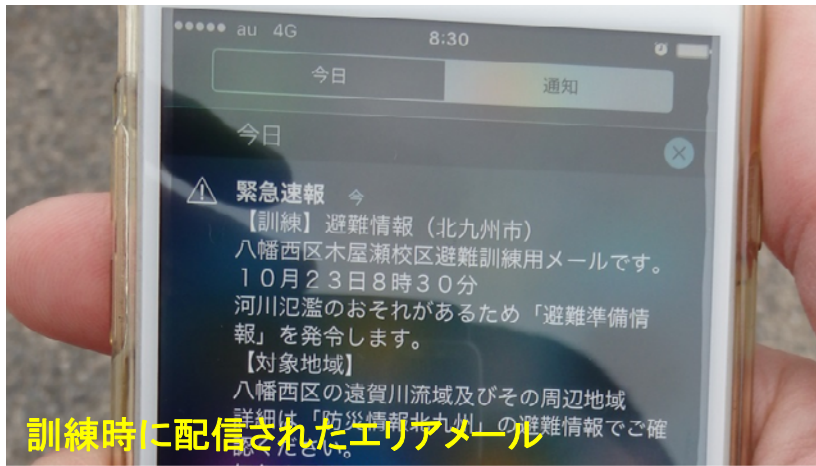


【取組事例】遠賀川の大規模氾濫を想定した実践的な避難訓練の実施（北九州市）

- 遠賀川の大規模氾濫を想定して、北九州市八幡西区木屋瀬地区等において約420名の住民が参加し、要配慮者の避難や垂直避難など従来よりも実践的な避難訓練を実施
- 訓練では、緊急速報メールの配信やサイレンを使用するとともに、避難情報などの防災情報の意味について住民の方々に理解を深めてもらうため、災害初動時のシミュレーション訓練等を公開



避難情報の意味をしっかりと理解して頂くとともに、避難情報が発表された場合、躊躇なく避難して頂きたい。



（観覧者の声）
行政がどのように対応されているかがよく分かった。

